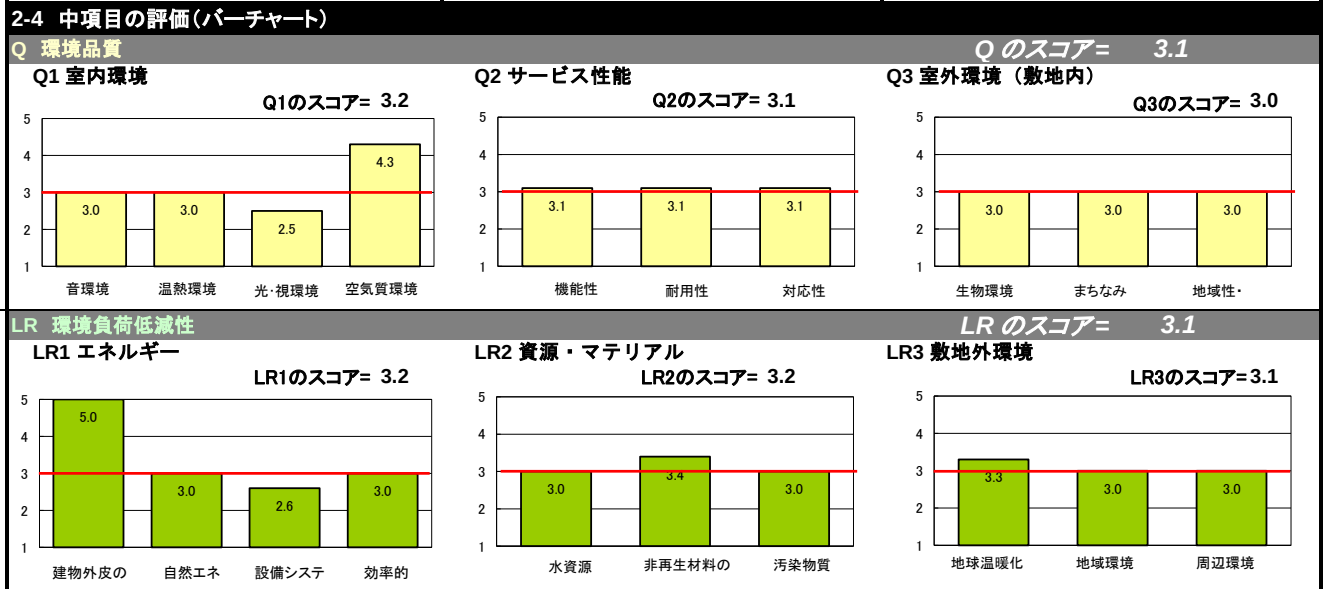
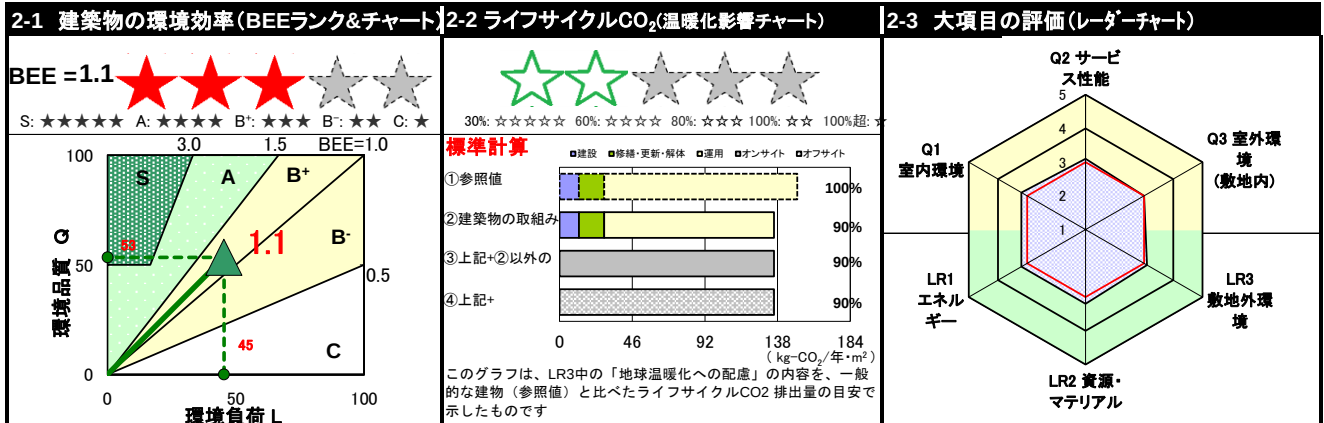


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	熊谷市子育て支援・保健拠点施設	階数	地上2F
建設地	埼玉県熊谷市石原三丁目27番の一	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	89 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2024年5月17日
敷地面積	4,881 m ²	作成者	井川 博英
建築面積	1,617 m ²	確認日	2024年5月17日
延床面積	2,150 m ²	確認者	井川 博英



3 設計上の配慮事項		
総合 「安心できる子育て環境と健やかな暮らしを支える拠点～のびのびすこやかに～」をコンセプトに、 ・子どもたちが安心して楽しく過ごせる。 ・健康づくりをサポートする。 ・子育てについて気軽に相談できる。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部分が大きく、屋光を豊富に室内に取り込めると同時に、庇とカーテンにより適度に制御可能な設計としている。	Q2 サービス性能 天井高を十分に確保する設計とし、屋内においても開放感を感じ、心身の負荷軽減に寄与した設計としている。 内装材や配管材料に配慮し、維持管理の負担が軽減するような設計としている。	Q3 室外環境(敷地内) 既存樹木の保存・移植と創出により、十分な緑の量を確保している。 保健拠点施設としてコミュニティ機能へ貢献している。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費量の削減率において、省エネ基準の15%としている。	LR2 資源・マテリアル 内装材や仕上げ材等へ配慮し、部材の再使用可能性を高め、環境への負荷低減を図っている。	LR3 敷地外環境 風向を把握し、敷地内の建物配置に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	熊谷市子育て支援・保健拠点施設	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.3	+	2.6	=	5.9
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.3
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.3
卓越風向から敷地形状と建物の配置を考慮し、建物が遮った風が復帰するような設計としている。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
既存樹木の保存・移植と創出により、十分な緑の量を確保している。			

 : 入力欄